

が新領土アイウメに炭鑛業が開發したるために一九二四年二月緊急勅令で前記地方の鑛業に必要な機械材料原料等を五ヶ年間輸入免稅とした。ついで工業に關する科學的技術的の進歩を計らんがために各種研究を獎勵して多額の獎勵金を交付し、補助金を下付した、國產銃具の如きも發賣前所定の試験を爲し國產の優良化をばかり、木工業のために、國立小工業協會に年々二百十萬圓を交付し、蠶業獎勵の爲めに調査機關を設立し桑葉栽培、蠶種統一、繭糸業の改良をばかり、旅客旅館を統一して、觀光の外客に對れて不都合なからしめるやうにし、自動車營業の組織をも協會の統制に屬せしめ、教育活動映畫を獎勵してこれ又全國協會の下に統一をばかり、國產映畫を獎勵し、大理石工業組合をつくりて石の品質を選擇し、都會に對し何人も國民經濟大臣の許可を得ずして人口一萬以下の小都市に職工百人以上を使用する工場を設置するを得ずと定めた、これらの設備が幾何の効果を上げるか否やは將來に徴すべきであるが、併し伊國の生産業は最近百分二十乃至二十五増加した。就て學ぶべき多くがあると信ずる。

### ○ブリヤトモンゴル自治共和國 一九二三年八月一日

日の建設で舊イルカーツク及後具加爾州内の九郡を合せて建てた、面積三八三、五八七軒で森林は二七三、一三四軒を占む、氣候はシベリアの他地方に比し乾燥峻烈、大陸性である。住民はイルカーツク地方の一團と南バイカルの一團に屬するブリヤト人が多く、ロシア人之につきオロチヨンや猶太人

や韃靼人、支那人が居る、合計四九一、二三六人の人口である。其農村經濟は困難である、三年乃至五年は旱魃がつゞいて、多雨の年に豐作が見舞うに過ぎないからである。往時灌漑に用ひた海渠が残つてゐるのを見て、ブリヤート人の祖先が既に人工的灌漑を實行するの止を得ざりし事がわかる。今もブリヤート及露人は灌漑渠をもつてゐる。牧畜の方が土地に適するけれどもそれでも牧場の擴張、人工的灌漑及廣大なる市場がある、また原始の狀から脱却しきらない、最後に狩獵の産出は約一、〇〇〇、〇〇〇留に達し黒狐銀狐青狐等がよくとれる、しかしこれと衰退期に入つてゐる。湖沼河川の漁業も可なり行はれてゐる、林業は有望であり、松の實の採集は住民のよい賃金になる、蘇皮用バダンの採取もよい、金と石炭の埋藏も多いが發達不十分である、土地は廣くても人口は四十九萬、京都市だけの人口にもとゞかない、經濟事情が進まぬのも當然である。

## 質疑應答

〔問〕 イタリーの人口と生産業の現状如何 (兵庫溪路生)

〔答〕 一九二二年より一九二八年に至る過去六ヶ年間に於て伊國の人口は約二萬を増加した、近年伊國政府は人口増加策をたて、移出民制限方針をとつてゐるから今後益々人口を増大するであらう、そこで人口と生産との關係は學界及政治界で前途を喜望して大に論議せられてゐるが、今回大藏大臣

テ、ステファニア氏は信憑すべき数字を擧げて伊國人口増加と國民經濟の關係を論じ本國の前途憂ふるに足らずと断定した、蓋し最近六十年間に二百萬の人口が増加したが、其増加率は百分五に過ぎない、然るに伊國の生産業の増加率は百分二十乃至五十である。就中國民食料の基本たる麥の收穫の如きは一九二五年度からムツソリニー首相の斷行した麥増收の努力により、大戦前平年作より約千三百萬キントルを増收した、今後逐年増加の見込確實で一年九千萬キントルに至ること無謀でない、次に特筆すべきは盟休及意業の状況でフアシスタ政府成立直前一九二二年に伊太利全體に同盟休業六百萬回、罷業者延人員五十萬人、損失延日數七百萬日といふ恐るべき險惡状態をしましたが、今日では各階級各職業を通じて意罷業として目すべきもの一回も無く國民全般嬉々として各自の生業に従事する理想状態を現出してある。従つて失業者の如き一時は五十萬を突破したが、今日は僅に十萬を算するに過ぎない各種生産の増加は左の如くである。

種類	一九二〇— 二三年平均	一九二六— 二八年平均	一九二二 年百分率	一九二八 年百分率
鐵 鐵	三七,000 噸	五五,000	1000	一六六
鉛 鐵	一八,000	三三,000	"	一八
硫化鐵	四八,000	五二,000	"	一四
錳 鐵	一〇,000	四七,000	"	三九
鐵及鋼	八四,000	一七九,000	"	二一
鉛	三,000	一三,000	"	一七

水 銀	一,三〇	一,八〇	"	一三
硫 黄	三三,〇〇〇	四〇,〇〇〇	"	一五
酒 精	五,〇〇〇 (ト立方)	三三,〇〇〇 (ト立方)	"	二六
瓦 斯	三三,〇〇〇 立方米	三六,〇〇〇 立方米	"	一四
電 力	四,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇 瓦ット	六,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇 瓦ット	"	三三
廠	四,〇〇〇 キントル	五,〇〇〇 キントル	100	一七
繭 絲	四,〇〇〇,〇〇〇 噸	五,〇〇〇,〇〇〇 噸	100	一六
人 絹	一,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	"	二〇
砂 糖	一,〇〇〇,〇〇〇 キントル	三,〇〇〇,〇〇〇 キントル	"	三〇

以上の数字は明に伊國各種産業の活動發展を立證する、人口増加に比して遂に優越すること勿論である。海陸運輸交通方面では一九二二年の國內旅客數九千五百萬が一九二八年一億二千萬に上り、貨物送量四千二百萬トンが六千三百萬トン、商船隊百五十萬噸が二百萬噸、電報が二千萬から三千萬を突破し電話線の延長七萬五千軒から十三萬七千軒、電話加入者が十二萬九千から二十萬に増加し、輸出品の増加は葡萄酒、オリブ、麻、縮絲、縮布、生絲、大理石、硫黄、米、柑橘乾果、鵝卵、チーズ何れも二倍したといつてよい。反動政治と稱されてあるムツソリニーの政治は、やはり伊國々民の民情に適したものであつたと見られる。(F)